（一日夕刊）
休刊　大祭　第一　第三日曜
定價（一ヶ月壹圓二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（一行平錢指定廿錢）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社
電話五六四番

雛人形に就て（下）

西澤笛子

安永の頃から寛政の太平時代、更に天保から安政の騒がしい時代、この間が最も雛人形が發達してゐて、いろ〳〵なものが澤山出てゐます。また文獻上にも繪畫の上にも研究の上にもこの間は貴い期間であります。種彦や京傳や、美成などの人人も雛に多大の興味をもつて、その隨筆なども可なり留してゐます。また抱一應擧、文晁などの畫家は皆その材料を雛にとつた作品を澤山殘してゐます。松平定信の輔佐時代は最も雛祭が盛んで五段六段の大仕掛の段飾が出來、五人雛や官女などの附隨の人形が製作されました。同時に御直具類の出現となり從來の無細工なものでなく實物の模作といふやうな精巧な雛道具が出來まして、雛段が大に賑やかになりました。今日雛道具といふよりも寧ろ藝術品として珍重されてゐる七澤屋製や橘屋信濃などの作は當時のものであります。

この德川時代に雛祭が盛んになつた最大原因は割逃の後水尾天皇の御力と更に將軍家齊の力とであると見ることが出來ます。家齊は非常な子福者で子女五十餘人といはれやゐる位で自然子供の爲に雛を造つて祝ふことが多くなり次第に雛の趣味意匠に心がけ臣下と共に人目を驚かすやうな製作を求めるやうになつたのであります。そして節句が殊更に盛んになりその影響で一般民間にも華美な雛祭優れた雛人形を競ふやうになり未曾有のひな時代を現出するに至つたのであります。

嘉永六年、黑船渡來となり、安政の大地震につゞいて尊王攘夷、更に維新の大變動が起り次いで歌化心酔となりその間ひなに就ての悲話珍話時代となりましたそれが日清戰爭の大勝によつてそれまで中絶されてゐた端午の節句が大和魂の進展と聯關して起り新全盛を極めるに共にひな祭が再び盛んになつて參りました。

その頃、清水晴風、坪井正五郎、竹内久一、西澤仙湖といふ人達が端午飾に劉してひな飾を奬勵普及し新築のひな人形を造る氣運を作りました一面古い歷史に富んだ雛道具の研究材料を發表して新案ひなに強い刺戟を與へ一般の人達を次第に興味を深めざよしい發達を焦立ち衝突を生じ易き日新しき事は特に因

當時から大戰役、更に一段の降盛を示すやうになりました。

大正から昭和にかけて毎年この期節には何等かの新案新作が必ず現はれてゐるが有樣であります。また餘技的考案も飛出してこの種のものだけでも幾百種といふ程あります玉すさひなどか義太夫ひなとか、臺所ひなとか帝展ひなどはその一種で實に奇想天外といつてもいゝ程であります。

※……明治三年一月新月
※……吉日　暦二日
※……凶日　暦二日

△一白　分に叶ひたる事には大吉の日開店起業皆吉△二黑　運氣强大にして諸願成就すべし入學就職吉△三碧　多くの難事入り込み來りて内に助け少き日△四綠　行詰まり勝の日別に進路を求むべて飲食注意△五黃　自ら責むる事强ければ衆望集まりて榮達を見る△六白　朋輩の助けありて存外の光榮に浴する吉日△七赤　幸福の人よりも不運の人を見て自省すべし△八白　催せて陽氣が次第に增進て吉福を招き入るべし△九紫　心……あゝ切がないッ……

吉田眼科醫院

講談　藤木紅花記

渡邊默禪作
宮野歌春畫

（172）

氣が注いても六日の菖蒲汽車の發つた後で停車場へ駈附けたと一般である。

「そう分つて見ると、二人に取つて大變だから、打藥つておかれはしない筈だ。だから私をこんな目は遇はしたのだ、と云つてどうする心算なんだらう。土藏の中へ押籠めて外へ出さない出さずに置けば兄さんと遇ひたくとも遇へやうがない相談がつかぬ、家の樣子を內通することが出來ない。そうして置いて此方の目論見を打壞さうといふ了簡かねい、すると何時まで私を此處に押籠める心算なんだ〳〵に物音を立てるきい〳〵

秘密を葬るのではあるまいか、と思つたのである。

「わッ、こ、殺すなら殺すが可いッ、こ、殺されても思ひ込んだ一念をは、はらさずに置かうかおのれッ！

すつくと身を伸して片膝を立てゝ拳をきつくり握りながら扉の方を睨みつめた咬みしめる白齒にほつれた鬢の毛を黑蛇の如くゆらめかせて。

闇は刻々に我が影を呑み去つて、四邊に積かさねた瓦落多道具も眼に見わすなつた。時をわがほに駈出した鼠までが、我を侮つて近いて或る事を想像すると共に、覺わずぞつと身毛をただたせた。嗚呼干乾！干乾！自分を干乾にして此の土藏の中で餓死させたのでは

あるまいか、殺して闇中に

ひたくとも遇へやうがない

相談がつかぬ、家の樣子を內通することが出來ない。そうして置いて此方の目論見を打壞さうといふ了簡かねい、すると何時まで私を此處に押籠める心算なんだ〳〵に物音を立てるきい〳〵

駈附けた一般である。

「そう分つて見ると、二人に取つて大變だから、打藥つておかれはしない筈だ。だから私をこんな目は遇はしたのだ、と云つてどうする心算なんだらう。土藏の中へ押籠めて外へ出さない出さずに置けば兄さんと遇ひたくとも遇へやうがない相談がつかぬ、家の樣子を內通することが出來ない。そうして置いて此方の目論見を打壞さうといふ了簡かねい、すると何時まで私を此處に押籠める心算なんだ〳〵に物音を立てるきい〳〵

「わッ、こ、殺すなら殺すが可いッ、こ、殺されても思ひ込んだ一念をは、はらさずに置かうかおのれッ！

すつくと身を伸して片膝を立てゝ拳をきつくり握りながら扉の方を睨みつめた咬みしめる白齒にほつれた鬢の毛を黑蛇の如くゆらめかせて。

闇は刻々に我が影を呑み去つて、四邊に積かさねた瓦落多道具も眼に見わすなつた。時をわがほに駈出した鼠までが、我を侮つて近

讀者欄

廿五才禁酒法

阿佐之助

既にアルコール中毒に罹つてゐる老人達を捕へて無理矢理に酒を止めさせやうといふ事をしやうといふ事ではない、それも止められるなら止めて欲しい樣は云ふ迄もないが然しどうしても止められないと云ふアルコール中毒患者は出來るだけ强い酒をなるだけ澤山飲んでそしてなるだけ早く片つけるひない、あとはアルコール氣のない純粹な青年によつて社會國家を支持してゆきたい、そこに廿五歲禁酒法のねらひ處があるのである

國家の永遠なる進步發達は子孫の優良なる繁榮に望まなければならないのである爲めに何か一番邪魔になるかと云へば即ち酒の害毒である云ふまでもなく酒は飲んだ人自分の心身を破壞する許りでなくその害毒が子孫に遺傳して或は瘋癲白痴或ひは盲聾啞盲人といふ醉ひつぶれてもまだ强い酒を飲む者が在營二年の除隊になつて歸つた時の歡迎會席上には斗酒尙辭せずといふ酒豪家になつてゐるものが尠なくない。青年が酒飲みになるといふ機會場處とはその多くは兵營生活に見出する事が出來るといふ事は最も恐るべき事柄と云はなければならない。

若し廿五歲禁酒法案が成定せられるとするならば軍隊は全く純潔無垢淸淨な樂土と變るので從つて兵隊としての能率の高まる事は既に第二師團が事實に於て證明してゐる、獨りそれは兵營生活に於てそうだといふのではなく農村の青年に於ても都會の青年に於て成はなるべく嚴密に殘黨の搜索中、學生、勞働者あらゆる點に於て酒は人間の能率をひくものであつて無酒は能率を高める事はあらゆる事實である

若し、廿五才まで杯を平生にする事が出來ないとなれば恐るべき事柄と云はなければならない。

若し廿五歲禁酒法案が成軍してゐた肥前佐賀藩の五番隊指揮副頭秋津順藏といふ者であつた。既に幕府が敗走して江戶以西に敵の影を一新するであらうと考へるこれを兵隊に就て考へて見るのに入營するといふ送別會の時には一杯の酒にさへ醉ひつぶれてもまだ强い者が在營二年の除隊になつて歸つた時の歡迎會席上豪家になつてゐるものが尠なくない。青年が酒飲みになるといふ機會場處とはその多くは兵營生活に見出する事が出來るといふ事は最も恐るべき事柄と云はなければならない。

若し廿五歲禁酒法案が成軍してゐた肥前佐賀藩の五番隊指揮副頭秋津順藏といふ者であつた。既に幕府が敗走して江戶以西に敵の影を一新するであらうと考へるこれを兵隊に就て考へて見るのに入營するといふ送別會の時には一杯の酒にさへ醉ひつぶれてもまだ强い者が在營二年の除隊になつて歸つた時の歡迎會席上には斗酒尙辭せずといふ酒豪家になつてゐるものが尠なくない。青年が酒飲みになるといふ機會場處とはその多くは兵營生活に見出する事が出來るといふ事は最も恐るべき事柄と云はなければならない。

雨宮方へ突然踏込んだ官軍は、甲府の城にたむろしてゐた肥前佐賀藩の五番隊指揮副頭秋津順藏といふ者であつた。既に幕府が敗走して江戶以西に敵の影を一新するであらうと考へるこれを兵隊に就て考へて見るのに入營するといふ送別會の時には一杯の酒にさへ醉ひつぶれてもまだ强い者が在營二年の除隊になつて歸つた時の歡迎會席上豪家になつてゐるものが尠なくない。青年が酒飲みになるといふ機會場處とはその多くは兵營生活に見出する事が出來るといふ事は最も恐るべき事柄と云はなければならない。

若し廿五歲禁酒法案が成軍して

監督所の言分を 平町から 逆に陳情

先づ重荷を卸した 地下採掘不許可

常磐所在某炭礦が平町市街地全部を含む區域の石炭試掘出願を仙臺鑛山監督局に提出したに對し平町では市街地の下を掘られては將來如何なる危險を惹起するやも知れず由々しき大事であると憂慮してゐたのでその出願に對する仙臺監督局の處斷は各方面から注目されてゐたが仙臺鑛山監督局は實地調査の結果この程出願は公安に害あるものとし鑛業法第卅二條により不許可と決定したが右について平町役場を問ねば伏見町長に代つて佐藤助役は

未だ何等の知らせに接してませんが不許可は殆むと確信してゐた、二回に亘る平町側の反對陳情書には前年湯本地下問題で吉本眞一氏と監督所との間に係爭中監督局が行政裁判所に於てなした不許可の理由をソックリ頂戴して之れを逆に反對申請をした事なども餘程利いた事であろう」と語つた

三千五百を増額した 平町の修正豫算

特別會計で二千圓減 きのう可決確定

平町繼續豫算町會は二十八日午後二時十五分開會加納豫算委員長と青沼決算委員長から各委員會の結果を報告質問應答あつて委員會の修正通り可決確定し午後四時半閉會したが確定豫算は左の如し

原案に對する豫算委員會修正は通常豫算歳出經常部は二千九百圓を減じ臨時部は五千五百八十二圓を増額したため差引三千四百九十二圓増額したため歳出總額四十五萬三千七百十二圓となり特別會計(水道)經常部四百二十八圓臨時部千八百九十三圓計二千三百二十一圓減額し總額二十三萬六千八百六十七圓となり結局明年度の歳出總額は六十九萬百七十九圓となつた。

修正の主なる費目は通常豫算經常部の減土木小學校公債豫備、臨時部の増土木繼續役場建築小學校土木の各費目で特別豫算で

氏は

教育の意義と目的 (上)

平町　五十嵐雄齊(寄)

學年末に近い今日此頃は父母一般の懸念であらねばならぬ。余は自己の歩み來義務教育を終へてこれから中等學校へ、又は中學校女學校を卒業して更に高等の諸學校へ進まうとする子女を持つ父兄には必ずや子女の教育問題に就き何れか方針を確立すべく餘儀なくせられつゝあるの秋である。既に二三の教育、入學の諸問題に就き余に意見を求められた。如何に教育の方針を樹つべきか如何なる方向に進ましむべきかは實に子女をおつ

學校に遊學せしめ、その卒業の日を一日千秋の思ひで待つてゐる、しかして今日の大學卒業生が果して彼等の父兄の豫期を滿たしてゐるであらうか、思ひ半ばに過ぐるのが現狀ではあるまいか。

現代と教育

法學士が巡査になつた、大學出の運轉手が出來たといつて新聞の三面記事を賑はした時代は、もう一昔の過去となつた。現在では當

公然の盜伐

郡南方面の習慣

石城郡錦町地方は古來の風習として舊正月庭前に正月樣と稱して手頃の、くぬぎ二本を飾をがそのくぬぎは自己所有と他人所有とを問はず若し他人の山林から盜伐して來てもこの場合に限り窃盜とならぬものであるとの慣習を續け來る舊年末に際しこのための被害各所に相當ある樣で年々苦情の種となつてゐるに鑑みみ植田署では弊風を徹底的に打破すべく舊年末來盜伐者の檢舉に努めつゝあつたが前八時頃神俣方面に主家の集金に出掛け十六圓餘の集金を横領して東京に行くべく平驛に下車したものと判明し一人の男は双葉郡上岡村大字上戸岡字千里生れ住所不定無職石田豐吉(三〇)と稱し二十六日茨城縣助川町氏名不詳よりゲートル一個を窃取したこと自由した

後の男が徘徊してゐるので取調べの結果此奴は双葉郡町下下駄屋佐藤鶴吉方雇人猪狩嘉喜(二九)と云ひ同日午

石城出身の一氏 共に異數の拔擢

佐藤氏は福島署長に 齋藤氏は支廳長

本縣警察官移動發表の前提たる福島署長並に南會津支廳長の交延は二十八日發表されたが何れも本郡出身者の當り年である、即ち高等課長から福島新署長に拔擢された佐藤久俊氏は本郡神谷村出身にして明治四十一年本縣巡査を拜命し大正五年三月警部補となり若松署勤務を命せられ同七年八月四倉署長となり九年一月警部に昇進同十年三月三春署長同九月若松署長に同十一年九月高等課長十三年三月喜多方署長十五年二月時の若槻内閣時代林職その後田中内閣に至つて昭和二年八月白河署長に復活僅か一ヶ月の同九月高等警察課長となし今日に及んだもので四十二才、

次に南會津支廳長齋藤清吾、氏は

石城郡磐崎村出身、明治三十一年本縣巡査を振り出しに四十三年四月警部補となり四倉分署長同年十月警部に任せられ飯板分署長となり四十五年六月休職となり後警察視廳に入り警部補を經て警部に昇進二ヶ年に亘り不良少年係りとして敏腕を揮つたもので、太田總監時代地方警視に昇進して高知警察署長に裁せられ次いで地方事務官となり幡支廳長となり今日に及んだもので本年五十二才、何れも前途有爲の材である

酒屋の黒鼠

正一郎御用

石城郡江名町字北町山形縣西村山郡渡邊村生れ居酒屋佐々木正一郎(三二)は大正十五年一月より同町新町酒造業吉原與平方に番頭として雇はれ昨年八月頃まで同家から酒二三升づゝ數十回に亘りチヨロマカシ約一石五斗代價百五十圓を窃取して目下嚴重取調中である

平驛に寢込む 一人の怪漢

平署に御用

平驛附近を二十七日午後十一時半頃平署柴崎、半澤兩刑事が密行中推定二十才前

平消防組から 惟災者へ義捐

金や反物を取混ぜ けふ鹿島へ傳達

平消防組では過般の鹿島村大火の罹災者を救濟すべく町内に義捐金募集中の處△二十圓平消防組△二十圓四丁目△十圓六、七丁目△十圓鎌田△十五圓新川町、月見町△五圓大工町△十圓鍛冶町△二十圓三丁目△十五圓南町△十圓材木町△二十圓一丁目△十二圓紺屋町△十圓長橋町△十二圓研古組△五圓久保町△三圓八幡小路△五圓城山△五圓胡摩澤北目△二十圓田町△十圓掻槌小路△二十圓二丁目△五圓仲間町△五圓柳町△十圓白銀町△六十圓五

公賣公告

東京市淺草區小島町五拾七番地

滯納者　武田茂三郎

福島縣田人村、上遠野村地内　第四八六三號

石炭鑛區四拾八萬八千六百四拾坪試掘鑛業權

石城郡大浦村大字仁井田滯納者　酒井善吉外三名

福島縣大野村地内　第四六五六號

石炭鑛區拾五萬四千貳百坪試掘鑛業權

右國稅滯納ニ付前記財産昭和四年三月十日午前十一時平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付入買受望人ハ當署ニ就テ詳細承合ノ上入札ヲ爲スベシ

昭和四年二月二十七日

平稅務署長

平署の間取りや 設計内容も決る

演武場も近く移轉して 五月中旬引越し

平署の移轉につき廿七日森本縣警務課長、橋本縣營繕技師が猪狩平署長と共に舊郡役所跡を實地視察し直ち郡役所跡に移轉に伴なふ工事設計に取かゝつたが設計の内容は舊郡役所會議場はそのまゝ會議室となり元郡長室を署長室、應接室を新聞記者室現各種産業團體事務室は行政司法事務室及び六個の留置場設置に當て宿直室小使室はそのまゝで附屬建物では元郡長員は湯本工場を閉さし一部從業工町工場を閉さし一部從業員は湯本工場に移し他は全部解雇したがこんど輕量白煉瓦工場として復活することになつた

常磐礦長會

鑛山警察その他

常磐七大炭礦たる大日本入山、磐城、古河、福島、大倉の礦長會議は二十八日午前十時から湯本町松柏館に於て開會し鑛業警察及び勞銀協定について協議した

木炭檢査所

三坂村に新設

縣木炭聯合會では優良なる本炭等級檢査員を養成すべく縣下最初の試みとして石城郡三坂村山間に木炭研究所を設置し濱三木炭同業組合等の援助を得て講習生を募集し午前は實科午後は學科を課し製炭法等の技術を修得せしめ確實なる檢査員を養成するものである

磐中プール

縣立磐城中學校では御大典記念として運動方面の施設事業を協議中の所このほどに至り第一次事業として校庭に專用プールを設けることに決定今夏より使用すべく來月早々より工費四千餘圓を投じて工事に着手することゝなつた費用は生徒並びに卒業生よりの寄附にまつ由

鹿島火災の實地檢証

武田檢事一行

平區裁判所武田檢事中畠伊藤刑部補は二十八日鹿島村災害の實地檢証を行つた

白煉瓦工場

平町に愈々復活

平町に愈々復活

平町大工町と石城郡湯本町に大工場をもつ品川白煉瓦會社では財界の不況と勞働爭議の打擊を蒙つて平町大工町工場を閉さし一部從業員は湯本工場に移し他は全部解雇したがこんど輕量白煉瓦工場として復活することになつた

非常に成績よい 紹介後の少年

平紹介所大喜び

平町職業紹介所では大正十五年以降小學校卒業兒童の職業紹介を爲し昭和三年までに百廿名の兒童に對し職業の紹介を爲したが同所では此の紹介した兒童に對し目下從事してゐる職業に對してどんな感想を抱いてゐるか、又收入金はどんな方法で處分し使用してゐるかその外二三件は文書を以て回答によると何れも申合せた樣に現在從事してゐる仕

磐城新塔

石城郡赤井村字高萩地内小玉川河原より最近小玉石と稱する石質石版石に類似の石の縱斷面には二三分幅の緣取りあり精巧なる連紋を描いてゐる光澤鮮麗なめらかなる石なので炭礦並びに鐵道方面の人々が盛んにこれが採取をしてゐるが地元民も今更ながらの掘出物に驚いて採取し始め農事の副業的に連紋の雲樣富士模樣に人工を加へまたは硯となて嗜好家に販賣してゐるが考古學上の曳玉中同石に類似せるものあり過般發掘された石斧の質も同石に類せるものあり生成紀は判明せぬが石器時代裝飾物、器具等の材料となつたものらしく考古學的にも鑛物學的にも好古の研究資料と見られてゐる

副業講習會

けふ修了書授與

石城郡農會主催竹細工講習會は磐崎村にて横須賀武夫氏講師のもとに三十名の講習生は二十八日講習修了したので修了書授與式をなし

桂馬猟友會
馬城會平支部會員に告ぐ
聯合懇親會を左の如く開きます。奮つて御出席下さい。
一、開期　三月三日午後一時
一、場所　平町田町一の井
一、會費　金二圓(當日御持參の事)
一、申込所　平町植槌小路(電話五三七番)
永野柳造方
發起人一同

外科　外科一般　耳鼻科　花柳科
婦人科　産科　人科　外科
内科
X光線科
赤心堂病院
平町田町(電四七五)

高級車貸切
開店披露
自動車御用ハ
電話三四三番
平驛前　昭和タクシー
澤正路

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
醤油醸造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

三益玉炭のお奬め
三井物産會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣持許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ强ク日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン
□ソレデ値段ハ大變お安ク木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス
□ドンナニ喰はずきらいノ人でも一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス
値段　壹箱　貳個　金八百圓
ハ約　ハ個數　内外
御參申シカ越テラ次御第覽申見ニ越本供下ラシサ持マイ
平驛前　阿部石炭商店
電話二三七番